

## 臨床心理学：心理発達

39-059 社会的人格の発達において、学童期の課題として最も大切なのはどれか。

1. 自我（自己）同一性の確立 青年期
2. 母親の愛情への基本的信頼感 乳児期（乳児）
3. 同性の親への同一化 幼児後期（3歳後半、エリクソンコンプレックス）
4. 同性同年代との親密な関係 ギャング・エイジ：同性同年代の閉鎖的集団で一緒に行動したり
5. 権威や規範への反抗 思春期（中学生） 仲間うちで通用する合言葉を使うなど。

40-059 高齢者の心理と関連するのはどれか。

1. 血統妄想
2. 恋愛妄想
3. 被毒妄想
4. つきもの妄想
5. もの盗られ妄想 記憶力低下により、置き忘れられた物と人が盗ったと言う。

41-057 中学生の心理発達における特徴はどれか。...中学生は思春期である。

1. 性の相違を理解する。- 幼児期 (思春期は青年期の初期)
2. 自我同一性が完成する。- 青年後期～成人期
3. 教師や指導者に従順である。- 児童期
4. 第二性徴への戸惑いがある。- 思春期
5. 友人関係より親子関係を重視する。- 学童期

42-059 青年期心理と関係が少ないのはどれか。

1. 吃音 幼児期～学童期
2. 過食症
3. 手首自傷
4. 家庭内暴力
5. 社会的ひきこもり } 自我が不安定で、感情や行動のコントロールがうまくできない。社会との関わりで問題がおこることが多い。

43-059 社会的人格の発達における学童期の課題で最も大切なのはどれか。

1. 自我同一性の確立 青年期
2. 権威や規範への反抗 思春期
3. 同性の親への同一化 幼児期
4. 同性同年代との親密な関係の構築
5. 母親の愛情への基本的信頼感の確立 乳児期

44-059 青年期の心理的発達課題に関連するのはどれか。2つ選べ。

1. 自己中心性 幼児期
2. 第一反抗期 幼児期
3. 自我同一性 青年期
4. モラトリアム 青年期
5. ギャング・エイジ 学童期

45-A-080 Erikson による各発達段階の課題で正しい組合せはどれか。

- ① 乳児期——信 頼
2. 幼児期——勤勉性 *自律性、自主性*
3. 学童期——親—密 *勤勉性*
4. 青年期——自律性 *同一性*
5. 成人期——同一性 *親密、生殖性*

46-P-079 青年期の心理的発達課題に関与するのはどれか。2つ選べ。

1. 自己中心性 *- 幼児期*
2. 第一反抗期 *- "*
- ③ 自我同一性
- ④ モラトリアム
5. ギャング・エイジ *- 学童期*

48-A-080 Erikson による発達段階と獲得すべき課題の組合せで正しいのはどれか。

1. 学童期——親密 *勤勉性*
2. 青年期——生産性 *同一性*
3. 成人期——勤勉性 *親密*
4. 中年期——同一性 *生殖性*
- ⑤ 老年期——統合

49-A-080 中学生の心理発達における特徴はどれか。

1. 性の相違を理解する。 *- 幼児期*
2. 自我同一性が完成する。 *- 青年期後半~成人*
3. 教師や指導者に従順である。 *- 学童期*
- ④ 第二次性徴への戸惑いがある。
5. 友人関係より親子関係を重視する。 *- 学童期*

★ Erikson の心理社会的段階

- |         |           |
|---------|-----------|
| ① 乳児期   | 信 頼—不信    |
| ② 幼児期前半 | 自律—疑惑     |
| ③ " 後半  | 自主性—罪悪感   |
| ④ 学童期   | 勤勉性—劣等性   |
| ⑤ 青年期   | 同一性—同一性拡散 |
| ⑥ 成人期前半 | 親密—孤独     |
| ⑦ " 後半  | 生殖性—自己陶酔  |
| ⑧ 老年期   | 統合—絶望     |

★ 一般的な発達段階の特徴

- ・ 乳児期 母親との基本的信頼関係、愛着(アタッチメント)の形成
- ・ 幼児期 第一反抗期(自我の芽生え)、男女の差異を知る、同性の親との同一自己中心性  
アニミスム: 物に魂があるように認識する
- ・ 児童期(学童期) 同性同年代との親密な関係、ギャングエイジ
- ・ 思春期(青年期初期) 第二次性徴の発現と「子ども」親、教師、社会への反抗  
他から見られる自分を意識するようになる
- ・ 青年期 自我同一性の獲得 (アイデンティティ: 自分とは何か、自分らしさは?)  
モラトリアム = 青年の社会参入に対する社会の心理社会的猶予期間  
(若気のいたり、若いから許してあげる)